

スピリチュアル物語

36話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリオット内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



深藍(しんらん)から葡萄葛(えびかずら)色に変わる暁の空に輝くルシファー(明けの明星)が、赤橙(せきとう)眩い旭光(きよつこう)に翳む頃、木々の間に立ち込める白董(すみれ)色の朝靄(あさぎり)はそっとその姿を消しつつあった。耳に心地よい小鳥の囀りと鼻を擦(くすぐる)るコーヒートの芳しい香り、潜在界から顕在界へと呼び戻されたマジョリアルは、ふかふかのベッドの上で小さな欠伸と大きな伸びをした。が、寝心地のよい寝具の誘惑には勝てず、暫く微睡(まどろみ)の世界を彷徨(さまよ)い続けた。

どれ位経った頃か、隣室から話し声がする…
彼女はベッドから起き上がりこっそりと隣室を覗いてみた。
「あ、お嬢さんのお目覚めだな」ウイザットがすかさず彼女を見付け声を掛ける。「夕べはよく眠れたかろう」続いてマグワート。「は、はい。お蔭様でぐっすり」マジョリアルがこっそり覗いていたことが見付かったバツの悪さから、少(すこ)しだけ頬を赤くしながら答える。

そんな彼女の様子にウイザットが「鳥が鳴いているね」と話題を逸らす気遣いを見せる。「種類にもよるが一般的に小鳥の鳴き声を聴くと癒されるじやろ。何でか解るかな?」マグワートがそれに乗っかる。「可愛らしい声だから?」そうじやろ。小鳥の声だけでなく、葉擦れやせせらぎ、波の音等の自然音は人間にとって耳触りの好い高周波であることが多く、またホワイトノイズという心地良く感じる変則的に上下に震動する雑音が含まれていて、更に不規則な1/fという揺らぎがあり、それも人間に安らぎを与えてくれるそうじゃ」「不規則な揺らぎ?」実は人間の心拍も不規則なんじゃよ。人間は規則的なものと不規則なもの調和することに癒しを感じる生き物らしい」



★これまでのお話(1~35話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com お話の続きは6月16日号をお楽しみに!